



## 職場は居心地よく、仕事はワンランクUPを目指して

職場の雰囲気は、仕事の質を左右します。**職場はいつも居心地よくありたい**ものです。

心が開かれてリラックスしていると、コミュニケーションも活性化し、力が発揮しやすくなります。仕事だからといって、過度に緊張感を与えたり、形式にこだわっていると、期待する成果は得られません。**メンバーの心が落ち着き、笑みの絶えない職場環境**を、リーダーを中心に築くことが肝要です。

一方、仕事は常にレベルアップを図りたいものです。主なポイントは、次の三つです。

**第一に、前例踏襲を排すること。**

**第二に、失敗を恐れず、挑むこと。**

**第三に、早めに着手し、客観的な立場から修正を重ねて改善を図ること。**



とりわけ第三の、一旦形にした仕事を多様な観点から吟味し、改善を図ることが必要です。その際、働かせたいのが批判的思考です。

**「ほかに考え方はないか」(多面的・多角的な視点)**

**「筋が通って、分かりやすいか」(論理的思考)**

**「本当にこれでよいか」(メタ認知)**

担当者が早めに着手して案を提示することで、組織を挙げた多様な修正が可能になり、仕事の質は高まります。

### 急いで結果を出そうとせず、丁寧に取り組む

すみ速やかならんと欲すること無かれ。小利を見ること無かれ。

すみ速やかならんことを欲すれば、すなわち達せず。小利を見れば、すなわち大事成らず。

(訳) 急いで成果を出そうと思ってはいけない。また目の前の小さな利益にとらわれてもいけない。急いで結果を出そうとすれば、かえって目的は達成されない。目先の小さな利益だけを見ていると、大きなことは成し遂げられない。

出典：「壁を乗り越える論語塾」安岡定子著（PHP研究所）